

## 第 37 回 沖縄科学技術大学院大学学園の今後の諸課題に関する検討会 議事要旨

1. 日時：令和 4 年 3 月 11 日（金）15:30～16:30
2. 場所：Skype 会議／中央合同庁舎 8 号館 14 階内閣府沖縄振興局長室
3. 出席者

### （1）構成員

相澤座長、西澤委員、岡崎委員、長我部委員、小柴委員、瀧澤委員、山本委員

### （2）内閣府

水野沖縄振興局長、望月審議官、中田総務課長、杉田次長、伊藤企画官

## 4. 議事要旨

### <議事 1 OIST の 10 年後見直しを踏まえた対応について>

- 事務局より「沖縄科学技術大学院大学学園法改正案」「2022 年度政府予算案」について説明を行った。
- 委員から以下の意見があった。
- 「新たな沖縄振興策の検討の基本方向について」に「必要な資金の 20%程度に当たる外部資金の調達」と、具体的に「20%」という数字が入っているが、どう達成していくかについては OIST と擦り合わせていただきたい。
- 国立大学法人で 200 億円規模の運営交付金が投入されている大学は、それほど多くはない。OIST にこれだけの資金が投じられていて、OIST が地元のために今後どういう努力をしていくかということをもっと地元の人たちに知っていただき、沖縄に OIST があることが大きなメリットになっていることを広く認知してもらえよう努力を続けていただきたい。
- 200 億円規模の補助は東工大と近い数字で、国立総合大学を含めても規模としては非常に大きい。本検討会でも海外の同じような特徴を持つ大学とベンチマーキングして結論を導いたので、今後、同規模の国費支援を受けている国立大学に負けないよう発展することを期待したい。今回の法改正や予算に関しては、検討会の意見が適切に反映された形で進んでいるものと理解。
- 外部資金の獲得について、戦略的に進めていくことを強く求めなければいけないが、5 年間で 20%という目標は難しいと考えられるため、「基本方向」の記載における「今後 5 年間で教員（P I）数 100 名を達成」とは切り離して考えるべき。ただし、可及的速やかに目標を達成できるよう、OIST には最大限努力をしてほしい。

### <議事 2 2022 年度事業計画案について>

- 非公表として取り扱い。

### <議事 3 その他>

- 座長より、10 年後見直しについては、本検討会の最終報告を踏まえた具体的な法律の改正手続きが進展していること、また、次年度事業計画を確認できたことから、本日の検討会が 1 つの区切りになるとの発言があった。
- 水野沖縄振興局長より委員に対して、約 3 年半にわたる熱心な議論に対する謝辞を述べた。

以上